

## これからも宜しくお願いします。

ご挨拶

飯豊の山々の白さが、厳しい季節の到来を感じさせてくれる季節となりました。

皆様におかれましては、日頃より当法人の運営につきまして、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございますでございます。

さて、ご周知のとおり新型コロナウイルス感染症は、衰えを見せず緊張感の続く厳しい毎日が続いております。このような状況を踏まえて、ご利用者様を不測の事態からお守りするため、面会の制限をお願いし、加えて施設内での手洗い、消毒の徹底、3密を避ける等の対策をとり、感染リスクに配慮しながら運営を続けております。

改めまして、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

時節柄、皆様におかれましては、くれぐれも体調にお気を付けください。



りんどう施設長  
佐藤茂雄

## 新天地でも変わらずがんばります。



グループホーム施設長  
和田恵子

いよいよ冬めいてきましたが、皆様におかれましては益々ご健勝のことお慶び申し上げます。

当事業所は、平成18年4月に旧黒川病院の跡地に開設し、地域の皆様に支えて頂きながらここまで歩んでまいりました。

認知症カフェ『グループホーム黒川茶屋』では、地域の方々と一緒にお茶を飲み、歌を唄ったり、置物を作ったりしました。こども園の園児や小学生との交流会、中学生の吹奏楽部の皆様が演奏にきてくださったこともありました。お祭りや賽の神などの季節の行事にも参加させて頂き、グループホームに求められる『地域交流』は、地域の皆様の温かい

ご支援とご協力があつたからこそと深く感謝しております。

9月に特別養護老人ホームりんどうに移転して、早3ヶ月。私共の課題であった施設設備の老朽化、入居者様の重度化に備えた介護機器設備、夜間や有事の際の職員不足が解消され、入居者様は新しい環境で実りあるシルバーライフ過ごしております。

近年、『共生』という言葉をよく耳にするようになりました。『認知症の人が尊厳と希望をもって認知症と共に生きる』という事です。認知症になっても進行を遅らせたり、進行を穏やかにできるよう職員一同日々取り組んでおります。

これからも入居者様とご家族様が安心できるような暮らしを提供し、終わりが見えないコロナ禍ではありますが、より一層何が出来るかを考えていきたいと思っております。

今後とも変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。



編集後記  
広報誌担当  
させて頂いた  
職員Aです。不  
慣れた仕事で  
皆さんに当施  
設がどのよう  
に映ったのか  
心配していま  
す。これからも  
定期的に発行  
していくを通  
じて目を通し  
て頂ければ幸  
いでです。



グループホーム黒川  
特別養護老人ホームりんどう 広報誌

# ぐるりん便り



グループホーム黒川移転創刊号

アナタラシイ  
イキカタヲ  
スミナレタ黒川デ。

Social Welfare Corporation  
Kurokawa Fukushimai

令和4年12月15日発行  
第1号



平成18年4月より黒川上町で営業を開始したグループホーム黒川が、令和4年9月に下館で営業する特別養護老人ホームりんどうへ移転しました。今後は、今まで以上に2施設が力を合わせ、お客様に寄り添い、地域の皆様に寄り添い、運営してまいります。



特別養護老人ホームりんどう  
【基本理念】

- ★利用する人が、気兼ねなく利用できる施設を目指し、施設機能を生かした誠意あるサービスを提供する
- ★利用する人が心身の機能を発揮し、自らの生活を選択・決定できる個別のサービスを提供する
- ★利用する人が、地域社会の